

# 同志社中学校・高等学校

(様式 4-2 : 令和 5 年度 モビリティ・マネジメント教育 (交通環境学習) にかかわる教員支援制度  
実施結果報告書)

## 実施結果報告書

1. 学習名称：地域交流を生む持続可能な駅づくり 叡電 八幡前駅プロジェクト (叡山電鉄株式会社との産学協同) <教科外 特別活動 (同中 学びプロジェクト) >					
2. テーマ：叡電「八幡前」駅を“地域交流”を生む持続可能な駅にする 地域の人にとっても、同志社生にとっても、大切な八幡前駅を 自分たちの手でもう一度「素敵な駅」にしよう					
3. 実施教科：教科外での特別活動として実施					
4. 関連単元：課外 (活動の監修は、社会科および技術科)					
5. 実施単元数：課外 (活動期間は 2023 年 4 月～2024 年 3 月の通年) (ミーティング回数は 85 回、活動時間の総計は 100 時間超)					
6. 学年	中学 1～3	7. クラス数	対象：全校	8. 生徒数	登録 30 名 (任意)
9. 実施内容 ■プロジェクトの目標は、つぎの 3 点とした。 (1) 駅利用者の地下鉄への流出や、地域の少子高齢化によって活気を失っている叡電「八幡前駅」。地域や同志社にとって大切な「八幡前駅」を、中学生主体による課題解決のアプローチでもう一度「素敵な駅」にしたい。 (2) 交通環境学習 (モビリティ・マネジメント教育) の支援事業として、“人や社会、環境にやさしい”という観点を継続的に加え、産学協同パートナーの叡山電鉄株式会社との連携のなかから、より都市環境・交通環境への貢献や還元度の高い学習活動に発展させる。 (3) プロジェクト活動の中から生み出されたコンセプト『持続可能な地域・駅をつくる』ことを目指し、最終的に地域のチカラで駅が活性化され続ける状態を生み出すためのアクションを実施していく。(SDGs 11 番目の目標：住み続けられるまちづくりを) ■プロジェクト活動の概要 イ)「八幡前駅プロジェクト」は、叡山電車との産学協同の取り組みとして、2013 年から継続していることもあり、2023 年度も 4 月から活動を始めた。当支援制度の決定は 2023 年 7 月であるが、決定以前より全校生徒約 900 名に対して有志メンバーを募集し、最大 30 名 (1 年生 8 名、2 年生 4 名、3 年生 18 名) が参画した。					

ロ) 2023年度に入り、本校としてのコロナに対しての活動制限・制約がかなり緩和されたことを受け、諸活動が以前のように「対面集合形式」に戻すことができた。しかしながら、一気にとはいかず、1学期・2学期はオンラインミーティングをメインに進行する形を継続。2学期に駅イベントの企画・準備に入るところからは、やり取りの密度や、対面集合での有効性を生徒たち自身が感じて、対面でのミーティングを強く要求するようになり、3学期にかけては、ほぼ100%対面でのミーティングに戻る状況となった。

ハ) オンライン/対面どちらのミーティングにおいても、「チェックイン」「アイスブレイク」等を毎回取り入れて、自由に意見を出せるよう安心安全な関係性づくりに注力した。また、1学期・2学期の期間は、一堂に会してのミーティングの絶対量が確保できない状況下で、全員協働で1つの企画を行うのではなく、参加生徒各人がマイプロジェクト的に活動するスタイルも併用して活動した。メンバー間での情報共有やコミュニケーションは、グループウェア【Microsoft teams】を活用した。

## 10. 学習のながれ：

### ■学習プランに沿った実施報告・振り返り

①課題リサーチの前後に、まちづくりの実践書を参考にした学習会、外部講師によるモビリティ・マネジメントに関することや、地域コミュニティづくりに関する講義・ワークショップを行う

→前述のとおり、本校としてのコロナに対する活動制限の緩和が年度の当初は段階的だったこともあり、活動の主な対象である叡電「八幡前駅」および周辺地域、また叡山電車全線について、1学期・2学期は、実際にリサーチ・フィールドワークを行うことを積極的には実施できない状況があったが、写真資料や現地からの中継を駆使して、オンライン上で可能な限りの情報提供を行い、特徴や課題をとらえ、誰にとってどのような魅力的な駅にしたいのか、そのために何ができるか議論を重ねた。「地域・交流」を生み出す「ココアツ」な駅をプロデュースする! というテーマを継続し、その活動を地域に根付かせることまでをゴールに「持続可能な駅・地域」づくりを目指すことを確認した。

②課題設定を行い、フィールドワーク/リサーチ活動をもとに、アクションプランを作成する

→課題の設定としては、【叡電「八幡前」駅を“地域交流”を生む持続可能な駅にする】を掲げ、活動コンセプトは、『ココアツ』というキャッチコピーを基軸に、八幡前駅を舞台に、「ココロがアツくなる・あたたかくなる」そして、「ココに集まる・ココで集める」といった願いを込めて、駅や地域を盛り上げていく企画に投影していくことをメンバーで検討し共有した。鉄道路線自体を利用するために八幡前駅を利用する人数をどうこうすることではなく、「駅（ホーム）で何かある/行われているコト」のために駅を利用する人数



が増えることを目指したい。そのようになるためにはどうしたらいいか考え、「駅ホーム看板活用」「駅イベントの企画」といった参加型・集客型のアクションプランに注力した。また、その観点より、駅を訪れる人が増えると安全面が大切になるという観点をもつメンバーも出て、特に駅ホーム横の踏切に安全対策として「飛び出し坊や（飛び出さない坊や）設置提案」も発案された。

③アクションプランを実際にプロトタイプとして実行にうつすため、叡山電車へのプレゼンテーションをおこなう

→生徒によるプランは、すべて叡山電車に提案（プレゼン）を行い、具体的なフィードバック（内容の精査）や調整、協力・協同をもとに実行に移すことを基本としている。今年度の前半は「オンラインでの実施」、そして後半は「対面しての実施」と、感染症の状況に応じてやり取りをハイブリッドして行うことができた。叡電本社へ生徒が訪問する、または叡電社員の方に本校に来ていただく、どちらのケースでも中学生と社会人が複数名で交流する機会を得たことは、中学生にとっては緊張感も熱意も経験値も高い次元で体感する貴重な学びとなった。毎度、叡電社員のみなさまからは「その企画内容では、駅の空間を共有する他の店舗に納得してもらえないから、練り直すように」、「もっと地域の人たちが参加できる、参加してもらえるように何かアプローチがあるといいね」、「その方法は、駅ホームでの安全対策は十分かな」など、真剣なフィードバックを向けていただくことができ、本当に実践的な学習になっている。

④具体的なアクションプランを実行するにあたり、必要な準備（製作・調達）をする

→「駅ホーム看板活用」「駅イベントの企画」としては、2023年度はつぎのようなラインアップを実行することができた。

5月 駅看板で「全駅キャラクター紹介」「プロジェクト紹介」を実施

10月 駅ハロウィンイベントを実施

12月 駅クリスマスイベントを実施

2月 バレンタインイベント／能登半島震災募金活動を実施

3月 チャリティパン販売を出町柳駅で実施／ホワイトデーイベントを実施

各イベントでは、看板の製作・装飾を、デザイン・塗装・パーツの印刷・調達などを生徒たちで分担して取り組むことができた。また地域の施設（岩倉こひつじ保育園）への協力交渉、地域の店舗（ベーカリー：プレーメン）との事前調整や交渉なども生徒自身で直接訪問して実現できた。地域にとっても、このように中学生が積極的に活動していることをダイレクトに伝えることができおり、駅への関心を向ける草の根的な動きになっている。

⑤取り組みを広報するためのポスターやパネルを作成し、配布・掲示する

→コロナ対策の影響により全校での集会（礼拝）が復活しないなかで、学校内での全校生徒（約900名）への活動報告や呼びかけは、「全校放送でスピーチすること」や「学年集会に複数回登壇すること」で代用するしかなかった。



また、イベントごとに告知のポスターを制作する意識も共有し、率先してポスターデザインを担当する生徒も出てきて、大いに活躍した。叡電の協力もあり、ポスターは叡電の主要駅のホームに掲出もされた。2月～3月にかけて実施した「能登半島地震ぬくもりココアツ募金」で作成した呼びかけ文書は、生徒が学校に交渉したことにより、本校全生徒の家庭に文書を配布することも実現し、募金の促進につながった。

⑥さらに全校生徒や地域住民向けにコミュニケーション Web サイトや SNS 活用、ハンドブック等を作成し広報する。

→プロジェクト活動の広報用に制作しているコミュニケーション web サイトに加え、八幡前駅プロジェクトによる「note」の運営も継続。

また、2021年度・2022年度と発行してきた【八幡前駅や地域を広報するコミュニケーションブックレット】の配布について、担当する生徒チームが2023年度も叡電への提案や調整をすすめ、2024年3月に「2024年春号」「2024年夏号」をまとめて発行するところまで達成できた。これまで同様に、叡電の主要有人駅（出町柳駅・修学院駅・八瀬比叡山口駅・鞍馬駅）に設置していただけることとなっている。八幡前駅の上下ホームには、配布ラックポケットもすでにあり、プロジェクトメンバーによって随時設置・補充ができる。本校内での配布促進も、昨年度に実現した配布ラックポケットが校内各所の壁面にあり、引き続き活用できている。

さらに、前年度に正式リリースを達成した、叡電【公認】の「叡電で遊ぼう」アプリ（コンテンツすべてを生徒が自主制作したもの）もアカウント継続できている。

★アプリのダウンロードはこちらから→



⑦駅および周辺地域を巻き込んだイベント／ムーブメントを実行する

→2023年度は、「駅（ホーム）で何かある／行われているコト」のために駅を利用する人数が増えることを目指す観点に生徒が注力して、10月にハロウィンイベント『ココハロ』、12月に恒例のクリスマスイベント『ココクリ』、そして2月～3月にバレンタインとホワイトデーに関連させたイベントというように、季節ごとに駅で催しを仕掛けていった。

特に10年継続してきた八幡前駅での「クリスマス企画」は、叡電ならびに地域住民や駅利用者からの“期待”も厚く、この八幡前駅プロジェクトの定番活動として定着してきた。だからこそ、もっと地域の人たちと繋がりたい。駅に来た人たちが繋がって欲しい。そのように考えて2023のテーマは『ココクリ ～地域の人と仲良くなろう～』となった。沿線の京都市森林組合の協力を生徒が交渉し、駅ホームにほんものの「もみの木」ツリーを設置、駅最寄りの岩倉こひつじ保育園や近隣店舗協力での「ゆく年くる年メッセージカード」の募集～展示（ホーム設置の看板）、そして中学生メンバーによるクリスマスキャロル生歌Live、他にも「駅利用者が自由に参加できる福引きコーナー」や「駅ホームで中学生とボードゲームを楽しもうコーナー」などを



実施して、沢山の参加者で賑わうことができた。

※当日の様子は、京都新聞に取材され、12/20の朝刊に掲載された（添付）

※当日はKBS 京都放送の取材もあり、当日夕方の情報番組で報道された

★KBS 京都放送での報道はこちらに記録（限定公開）→



また、2月のバレンタインと3月のホワイトデーにかけてのイベントを企画する検討に入った時期、ちょうど年始元旦に能登半島地震が発生。駅イベントの計画を進める意識と同時に、能登半島地震の被災地支援についても、このプロジェクトメンバーの企画力で何か出来ることが無いかという議論にもなり、バレンタインは「愛」、ホワイトデーは「感謝」、そして支援は「ぬくもり」というキーワードにすることで八幡前駅プロジェクトのコンセプト「ココアツ」を軸に展開できるとなった。

\*\*\*\*募金活動に際してのメッセージ（生徒作）\*\*\*\*

2024年1月1日に発生した能登半島地震から、約2ヶ月が経過しようとしています。ですが被災地では、未だに避難生活を余儀なくされている方が多くおられ、健康面でも経済面でも、毎日不安に過ごされています。そこで私たち「同志社中学校 八幡前駅プロジェクト」は、被災された方々が少しでも早い日常生活を取り戻し、『ココロあったかくなしてほしい（ココアツ）』という願いを込め、「能登半島地震ぬくもりココアツ募金」を始めました。聖書にある、「ノアの箱舟」というお話では、平和の象徴として“オリーブの葉を運んだハト”が描かれています。私たちのプロジェクトから誕生した叡電・八幡前駅のキャラクターであるハト駅長と、聖書にあるノアの箱舟のお話を繋ぎ、キリスト教主義の学校で学ぶ私たちとして、平和と復興の願いを込めて募金活動を行っています。

\*\*\*\*\*

学校内から、地域まで広く呼び掛ける「メッセージカード集め」と「募金活動」これを叡電さんにも提案・共有して実現。駅ホームには「愛の紅梅メッセージカード看板」そして「感謝の白梅メッセージカード看板」を掲出でき、3月8日には、叡電 出町柳駅での『能登半島地震ぬくもりココアツ募金チャリティパン販売』を実施することができた。パン販売は、これまでもコラボしてきた岩倉のベーカリー：ブレーメンさんと協働。プロジェクトで過去に開発したオリジナル「こいくるパン」も限定復刻販売してチャリティにすることができた。

※当日はKBS 京都放送の取材あり、当日夕方の情報番組で報道された

★KBS 京都放送での報道はこちらに記録（限定公開）→



\*\*\*\*募金活動の報告スピーチ原稿（生徒作）\*\*\*\*

みなさん、おはようございます。八幡前駅プロジェクトです。私たち八幡前駅プロジェクトは、2月後半から、「能登半島地震ぬくもりココアツ募金」の



活動をしてきました。3月8日には叡山電鉄の出町柳駅で、ブレーメンさんのパンをチャリティ販売し、その売上、募金を、日本赤十字社に寄付をするという企画を行いました。その結果の報告をさせていただきます。パンはすべて完売して、その売上からの寄付金額は、合計で19,935円でした。そして、同志社中学校のみなさんからいただいた募金と、叡山電車の駅での募金活動での集まった金額は、合計で17,573円でした。それにより今回の寄付額は、合計で37,508円となりました。色々な方のご協力により、多くの寄付が出来ることをとても嬉しく思います。ご協力頂いた皆さん、ありがとうございました。八幡前駅プロジェクトは、この募金活動以外にも、地域のために様々な活動をしています。1、2年生で興味のある方は是非来年度参加してみてください。

\*\*\*\*\*

#### ■活動をとおしての学習成果について

この【八幡前駅プロジェクト】は、教科外の特別活動として10年継続してきているが、毎年度、活動するメンバーがリフレッシュする形で「有志」を募っている。学年を超えて集まった中学生メンバーが、「自分が通う学校がある地域に根差した駅」というキッカケで叡山電車「八幡前駅」と出会い、その駅・地域の活性化・魅力化をテーマに取り組む。他路線（市営地下鉄）への利用者の流出や、地域そのものの過疎高齢化といった現実的な課題に対峙し、「同志社生が何とかしないとイケない」「自分たちの手でもう一度『素敵な駅』にしよう」という、ある種の「ヒーロー」的なポジションに近いモチベーションとともに、中学生という年齢的な無垢さで素直に取り組んでいけるといふ、最大の長所・意欲のチャンスに溢れたスタートがきれる。

PBL（Project Based Learning）と位置づけて、課題のリサーチから始め、地域と駅のあり方や、利用者が抱える課題なども洗い出す。どうしたら駅を安心・安全に利用できるか。子どもにとって、高齢者にとって、駅と周辺環境はどうあるべきか。駅にどんな工夫があれば関心を集められるか。持続可能な駅・地域はどうあるべきか。ときには「ペルソナ」を設定してみて「インサイト」を見いだすアプローチをとり、あるいは「デザイン思考」の方向や「アート思考」の方向かを選択しながら、そのプロセスを活用しつつ、自分たちにできるアイデアを検討し、情報収集し、プレゼンテーションをつくり、企業に提案し、実践し、広報する。

『PBLは、学習者自身が、幸せに気づく知性や感性を持ち、幸せに生きるための賢明な判断力や行動力を身につけ、異なる文化・価値観・考え方を持つ他者の他者性や自由を尊重して、対話による合意形成を目指し、さまざまな課題に責任を持って、主体的・自律的・協働的に解決し、より幸せな世界を創ることが出来る資質・能力を身につけた市民（人物）に成長する教育に活かされるのだと思います。』と広石英記氏（日本PBL研究所理事・東京電機大学副学長）も述べている。

「問い」を自分たち（学習者）で設定して、答えのない課題に向き合い、現実社会に働きかけ、その相互作用として想定外の事象（新たな課題）に次々と出会ってい



き、また次の課題を再設定していく。こういった現実的・実社会的なクリエイティブの道程は、単純に言えば「楽しくワクワクする冒険のような学び」ともとらえることができる。この八幡前駅プロジェクトでは、企画を実践すると、そこで出会った学校外の人に感謝されたり、褒められたり、励まされたりする。ときには新聞記事（京都新聞）やテレビニュース報道（KBS 京都放送）もされる。学校のなかでは得られないような実社会からの評価を受けることが、なによりの喜び・成果として与えられ、さらに練り直し、次のアクションにつなげていく原動力になる。

実社会の仕事さながらのプロセスを経験することは、生徒たちに「社会と学びがつながる感覚」「自分たちが考えたことでも、じゅうぶんに社会で通用させることができる自信」「私も社会の一員としてアクションできるシチズンシップ」の獲得を達成している。アントレプレナーシップ（起業家精神）獲得の学習活動としても有効である上に、「駅」「電車」といった公共交通機関や施設の活用を主眼とした学びを通して、モビリティ（人・社会にとっての移動活動）全般への理解、そして社会資本理解・地域貢献活動等につながる自発的な行動をとれる力（人物）を育むことができていると考える。

以上、ご報告いたします。  
ありがとうございました。



EIDEN × DOSHISHA JHS 「Hachiman-mae Sta. PROJECT」

EIDEN × DOSHISHA JUNIOR HIGH SCHOOL 「Hachiman-mae Sta. PROJECT」

EIDEN × DOSHISHA JUNIOR HIGH SCHOOL 「Hachiman-mae Sta. PR



ココア  
 ~ふしぎのまきのはさまん~

日時：10月26日(木)～11月8日(木)  
 場所：叡山電車 八幡前駅ホーム  
 お待ちしています！参加自由(無料)

HAPPY  
 HALLOWEEN

中学生が  
 駅をハロウィン仕様に  
 デコレーション！  
 地域のみなさまから  
 観光客の方まで、  
 「ココアツ」な  
 ハロウィンを  
 お楽しみください！



同志社中学校 × 叡山電車 「八幡前駅プロジェクト」  
 連絡先：同志社中学校 075-781-7253 (平日8-17) 素敵な駅・地域をみんなでつくる



# 私たちは八幡前駅プロジェクトです！

## Q,八幡前駅プロジェクトって？

「八幡前駅プロジェクト（HMMPJ）」は、同志社中学校に通う有志のメンバーと、叡山電鉄株式会社との産学協同プロジェクト活動です。

## Q,どんなことをしてるの？

「ココロがアツくなる・あたたかくなる」「ココでアナタとツナガル」そして、「ココにアツまる・ココでアツめる」という願いを込めて、『ココアツ』というコンセプトで「クリスマスデコレーション」、「駅の全面改装」、「マスコットキャラクターハト駅長の開発」、「旧チャペルイスの寄贈」、「岩倉ブレーメンとのパンのコラボ商品発売」などの活動を行ってきました

## 私たちについて知るには

八幡前プロジェクト公式HP



同志社中学生が  
イチから企画～  
開発した  
えいでん公認アプリ  
「叡電で遊ぼう！」  
AppStoreで  
無料ダウンロード  
してね♪



八幡前駅プロジェクト  
マスコットキャラクター「ハト駅長」



2023クリスマスは・・・【ココクリ！～地域の人と仲良くなろう～】

EIDEN × DOSHISHA JUNIOR HIGH SCHOOL 「Hachiman-mae Sta.PROJECT」

EIDEN × DOSHISHA JUNIOR HIGH SCHOOL 「Hachiman-mae Sta.PROJECT」

お問い合わせ：同志社中学校 075-781-7253 (平日8-17)

同志社中学校 × 叡山電車  
八幡前駅プロジェクト

仲を深める

～八幡前駅～

ココクリ参加者

＆  
Xッセ-ジカード記入

募集中!

行く年来る年

Xッセ-ジカード

12月14日

15:00～17:00

ホンモノの  
もみの木  
ツリー登場!

LIVE  
ボードゲーム

中学生と  
ボードゲーム  
で遊ぼう!

福引き

※参加自由(無料)

11日 17:00

カイロ配り



MERRY X'MAS



同志社中学校 × 叡山電車  
「八幡前駅プロジェクト」  
素敵な駅・地域をみんなでつくる

連絡先：同志社中学校 075-781-7253 (平日8-17)

日時：2023年12月14日(木)15:00-17:00

場所：叡山電車 八幡前駅ホーム  
お待ちしております！参加自由(無料)

中学生が  
駅をクリスマス仕様に  
デコレーション！  
地域のみならず  
観光客の方まで、  
「ココアツ」な  
クリスマスを  
お楽しみください！





報道関係者各位

2023年12月8日

素敵な駅をつくる産学協同『八幡前駅プロジェクト』  
2023クリスマス「ココリ ～地域の人と仲良くなろう～」  
駅ホームにホンモノの「もみの木」ツリー！  
キラキラ★クリスマス駅イルミネーション  
ゆく年くる年メッセージ募集&駅うたライブ&福引き

場所 叡山電車 鞍馬線 「八幡前」駅ホーム

「八幡前駅プロジェクト」は、同志社中学校の有志メンバー約20名と、叡山電鉄株式会社とのプロジェクトチームによる産学協同！現在で、10年継続・13期目を迎えています。

この産学協同の目的は、「叡電「八幡前」駅を“地域交流”を生む持続可能な駅にする」です。現在のメンバーでの活動コンセプトは、『ココアツ』で、八幡前駅を舞台に、「ココロがアツくなる・あたたかくなる」そして、「ココに集まる・ココで集める」という願いを込めて、八幡前駅や地域を盛り上げていく企画を実施していきます。この産学協同の取り組みにぜひご注目ください。



▲鞍馬行きホームに設置した「もみの木」

※京都市森林組合さまより提供

12/11(月)  
14:30～16:00

駅全体の  
クリスマス装飾作業  
(中学生+叡電)

⇒イルミネーション点灯開始  
★駅利用者へカイロの配布



▲昨年のイベント風景  
駅うたライブを行う生徒

12/14(木)  
15:00～17:00  
駅クリスマスイベント

◆駅うたライブ  
◆福引き(はずれなし)  
◆ボードゲームコーナー  
◆メッセージ展示

八幡前駅  
プロジェクト  
WEB



【本件および取材・報道に関するお問合せ】

同志社中学校 入試広報室(担当:古城 090-9042-8921)

TEL:075-781-7253 MAIL:a-kojyo@js.doshisha.ac.jp

叡山電鉄株式会社 総務部

TEL:075-702-8110



# 市民版



古書・蔵書／整理・買取

## 喜聞堂

(協力) 山添天香堂・京都ふくまる  
京都新聞美術骨董サービス

075-212-9793

出張鑑定無料

京都市中京区寺町通御池上ル

(京都市役所西側)

古物商許可証番号

京都府公安委員会 第611061130046号

### 叡山電鉄八幡前駅

### 利用者ら雰囲気楽しむ

やかな雰囲気を楽しんだ。

京都市左京区の叡山電鉄八幡前駅に、モミノキでできたクリスマスツリーや電飾がお目見えし、利用者を楽しませている。地元の方や中学生による恒例行事で、14日には

モミノキやスギの木に電飾やクリスマス飾りを施した。電飾も駅屋根の天井部分に電飾を設けた。

3年の松川尚史さん(15)は「駅を地域との交流の場にするのが目標です。飾り付けを見てもらい来年のイベントも楽しみにしてほしい」と話していた。

14日には、生徒たちがクリスマスソングの合唱や福引などを行うイベントを開催。駅の利用者や訪れた地域の人がにぎ

ツリーや電飾は年明けまで連日午後3時から11時まで点灯するという。(高橋道長)

## Xマスツリーや電飾 お目見え



電八幡前駅にお目見えしたクリスマスツリー。屋根にもイルミネーションが施されている(京都市左京区)



八幡前駅を盛り上げようと同志社中学生たちが開いたクリスマスイベント(14日、京都市左京区・叡電八幡前駅)

小の感への

コンテスト指導恩返



# 八幡前駅プロジェクト イベント

バレンタインデー♥に愛の紅梅を咲かす！

愛を伝える  
メッセージを書こう！

2/9(金)

2/13(火)

昼休み、放課後に  
校務センター前で  
回収します

景品としてギフトカード  
をお渡しします！！

愛届けたい  
あなたの大切な「誰か」に  
ギフトカードを贈ろう！

3/8(金)10:00-12:00

叡山電車 出町柳駅改札前に出店！

「ギフトカード」

を使用できるパンを販売します！





同志社中学校×叡山電鉄 八幡前駅プロジェクト

# 令和6年 能登半島地震 ぬくもりココアツ募金

集まった全額を  
日本赤十字社に寄付します



八幡前駅プロジェクトについて  
もっと詳しく知りたい方はこちら



## #ノアの箱舟

**同** 志社は、キリスト教主義の  
学校です。

キリスト教で重んじられている聖書  
には、平和の象徴として  
「ノアの箱舟」という話があります。

聖書では、この物語で  
「鳩は平和の象徴」とされています。

我々の活動する八幡前駅の  
キャラクターである、ハト駅長。

被災された方々の少しでも早い復興を  
願って、この募金をはじめました。

同志社中 八幡前駅プロジェクトメンバー

# 皆様のご協力をお願いします



# 能登半島地震ぬくもりココアツ募金 ご協力をお願い



2024年1月1日に発生した能登半島地震から、約2ヶ月が経過しようとしています。ですが被災地では、未だに避難生活を余儀なくされている方が多くおられ、健康面でも経済面でも、毎日不安に過ごされています。そこで私たち「同志社中学校 八幡前駅プロジェクト」は、被災された方々が少しでも早い日常生活を取り戻し、『ココロあったかくなってほしい』という願いを込め、「能登半島地震ぬくもりココアツ募金」を始めました。

聖書の創世記の中にある、「ノアの箱舟」というお話では、平和の象徴として“オリーブの葉を運んだハト”が描かれています。私たちのプロジェクトから誕生した叡電・八幡前駅のキャラクターであるハト駅長と、聖書にあるノアの箱舟のお話を繋ぎ、キリスト教主義の学校で学ぶ私たちとして、平和と復興の願いを込めて募金活動を行います。



叡電・八幡前駅や出町柳駅での募金活動とともに、同志社中学校内でも呼びかけて、ぜひ全校生徒・ご家族の皆さまからも、あたたかなご支援とご協力をいただければ幸いです。



募金方法：封筒に募金を入れて、  
中学校 校務センターにある募金箱に入れてください。

期 間：**2024年2月13日(火)～3月21日(木)**

寄付先：全額を日本赤十字社を通じて被災地へ届けます。

2024年2月21日  
同志社中学校×叡山電車  
八幡前駅プロジェクト 有志生徒一同

生徒・保護者の皆さまへ

平素より本校教育活動へのご理解、ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

まずもって、この度の能登半島地震により犠牲となられた方々に深く哀悼の意を表するとともに、被災された皆様、また、ご家族・関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、被災者の救済と被災地の復興支援のためにご尽力されている方々に深く敬意を表します。必要な支援が一刻も早く届き、一人でも多くの命が守られるように、神様が一人ひとりの心身を支え励ましてくださるよう、被災地域の皆様の安全と、一日も早い復興をお祈りいたします。

このたび、「八幡前駅プロジェクト」の生徒を中心として、復興支援への募金活動をおこなう動きがあり、本校としましても、協力して取り組んでいきたいと存じます。つきましては、当募金活動の趣旨をご理解いただき、みなさまの温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

同志社中学校 宗教部



被災された方が  
少しでも早い日常生活を  
取り戻せるように

同志社中学校  
ブレーメン  
×  
八幡前駅プロジェクト

3/8(金)

10:00~12:30 ※売り切れ次第終了

叡山電車 出町柳駅 改札前にて

**「チャリティーパン販売」**を実施します

7種類計約200個のパンを販売予定



(例)マフィン、カレーパン



能登半島地震めぐもりココアツ募金も同時に行います



「こいくるパン」

の売り上げを日本赤十字社に全額寄付



「こいくるパン」とは

八幡前駅のマスコット「ハト駅長」が考案したパンで、

「八幡前駅を恋のパワースポットにする」という当時のコンセプトにのっとり、同志社生約1,000人を対象にアンケートリサーチして企画した味を実現。なめらかなクリームをもちもちのパンで包みました!

能登半島地震めぐもりココアツ募金とは



旧約聖書「ノアの箱舟」というお話では、平和の象徴として

「オリーブの葉を運んだハト」が描かれています。私たちのプロジェクトから誕生した叡電・八幡前駅のキャラクターであるハト駅長と、聖書にあるノアの

箱舟のお話を繋ぎ、キリスト教主義の学校で学ぶ私たちとして、

平和と復興の願いを込めて募金活動を行っています。







報道関係者各位

2024年2月28日

# 素敵な駅をつくる産学協同『八幡前駅プロジェクト』 中学生が巻き起こす地域ムーブメント 令和6年 能登半島地震ぬくもりココアツ募金 出町柳駅でのチャリティ「パン販売」イベント

日時 2024年3月8日(金)

10:00～12:30 売切れ次第終了

場所 叡山電車 出町柳駅 改札口横

2024年1月1日に発生した能登半島地震から、約2ヶ月が経過しようとしています。ですが被災地では、未だに避難生活を余儀なくされている方が多くおられ、健康面でも経済面でも、毎日不安に過ごされています。そこで私たち「同志社中学校 八幡前駅プロジェクト」は、被災された方々が少しでも早い日常生活を取り戻し、『ココロあったかくなっほしい(ココアツ)』という願いを込め、「能登半島地震ぬくもりココアツ募金」を始めました。

聖書にある、「ノアの箱舟」というお話では、平和の象徴として“オリーブの葉を運んだハト”が描かれています。私たちのプロジェクトから誕生した叡電・八幡前駅のキャラクターであるハト駅長と、聖書にあるノアの箱舟のお話を繋ぎ、キリスト教主義の学校で学ぶ私たちとして、平和と復興の願いを込めて募金活動を行っています。

このたび、叡山電車さんとの協力関係のもと、出町柳駅でパンをチャリティ販売し、「こいくるパン」の売上全額を寄付。あわせて募金活動も実施します。(全額を日本赤十字社に寄付予定)

「こいくるパン」とは、コロナ以前に、同志社生約1,000人を対象にアンケートリサーチして企画した味を、岩倉・八幡前地域コラボ(叡電×プレーメン×同志社中)で開発・販売した商品です。こいくるパン(50コ限定)の他にも岩倉にあるBremenから、7種計約200個のパンを販売する予定です。

「八幡前駅プロジェクト」は、同志社中学校の有志メンバー約15名と、叡山電鉄株式会社とのプロジェクトチームによる産学協同。現在で、10年継続・13期目を迎えています。目的は、「叡電「八幡前」駅を“地域交流”を生む持続可能な駅にする」です。活動コンセプトは、『ココアツ』で、八幡前駅を舞台に、「ココロがアツくなる・あたたかくなる」そして、「ココに集まる・ココで集める」という願いを込めて、駅や地域を盛り上げていく企画を実施していきます。ぜひご注目ください。



▲学校内や八幡前駅でも募金活動中

▼以前に出町柳でパン販売をした様子



【本件および取材・報道に関するお問合せ】

同志社中学校 (担当:古城 090-9042-8921)

TEL:075-781-7253 MAIL:a-kojyo@js.doshisha.ac.jp

叡山電鉄株式会社 総務部

TEL:075-702-8110





同志社中学校  
Doshisha Junior High School

えいでん

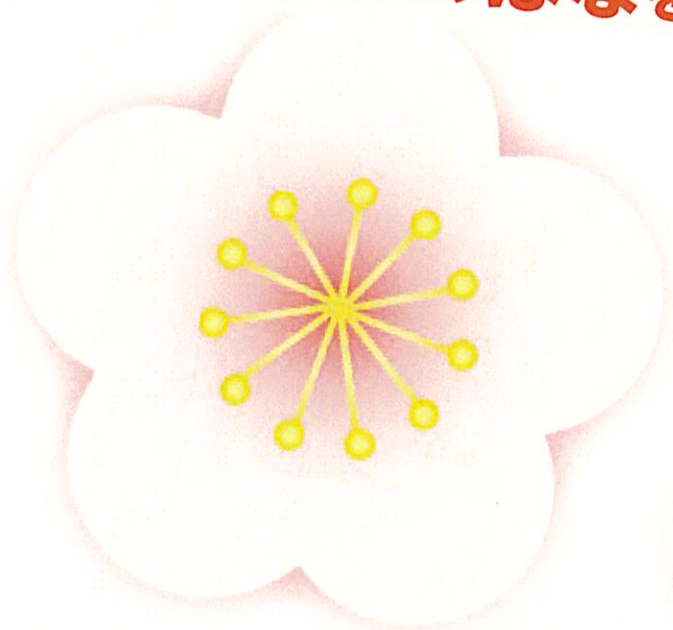
# はちまんまえ えきプロジェクト

中学生が巻き起こす地域ムーブメント

## イベントにさんかしてね！

2024.3.21(木)

ホワイトデー♡に「ありがとう」の  
しろいうめのはなをえきにさかせよう！



きみが  
「ありがとう」を  
つたえたいひとは  
だれかな？  
どんな「ありがとう」  
かな？

### カードのあつめかた(その1)

3/8(金)10:00-12:00

えいざんでんしゃ

でまちなぎえき

かいさつまえで、

ちゅうがくせい

パンのおみせをだすよ！

もってきてくれたら

「こいくるパン」を100えんで

かうことができるよ♡



### カードのあつめかた(その2)

でまちなぎには

いけないよ～っていう

きみは、3/15(金)までに、

こひつじほいくえんの

えんちょうせんせいに

わたしてくださいね

3/21(木)の夕方に、

八幡前駅に貼ります！



同志社中学校

えいでん

2024年春号

キャラクターがゆく！

# Eiden 物語

えいでんの車両解説②

711

711

えいでん

2023.11.1  
Debut

叡電八幡前駅プロジェクト



2ページ 目次

Eiden物語とは？  
今月号の表紙

3ページ

キャラクタープロフィール  
春号限定キャラクター紹介

4～6ページ

えいでんの車両解説②

7ページ

八幡前駅プロジェクト通信#4

8ページ

編集後記

## Eiden物語とは？

「Eiden物語」とは、同志社中学校の生徒による課外活動「八幡前駅プロジェクト」から誕生したコミュニケーションブックレットです。

そう、あなたが読んでいるブックレットのことです！

中学生メンバーが取材から編集、印刷まで全て手作りで作っています！また、えいでん全駅に設定されたオリジナルのキャラクター達が会話をしながら沿線の観光やグルメを楽しむといった物語になっています！

ぜひこの物語を手にとって、えいでん沿線を観光してみてください！

## 今月号の表紙

友達を誘って2023年のえいでんまつりに行った時に撮影しました。曇り予報でしたが、晴れ間をモノにして、当時はまだデビューしていなかった711号車リニューアル車両と青空のコラボを一瞬の隙にカメラに収めました。前面にはこの物語でもお世話になっているきららマンも座っていて、とても可愛かったです。



## キャラクタープロフィール

### ハト 駅長



八幡前駅の頼りになる駅長。姿をくرامすことも。助手のポッポに期待をしている。小さなポーチには時空空間が広がっていて、プロジェクトが始まる前の八幡前駅にタイムスリップもできる。

### ポッポ



ハト駅長の新人助手。少しおっちょこちょいな可愛い子。いつか自分もハト駅長になりたいと思っている。こいくるパン(八幡前駅プロジェクトで生まれたパン)をみんなの分を食べてしまうことも。

### 妹子くん



ハト駅長の良き相棒。とてもクールな性格でサバサバしている。ポッポに頑張ってもらいたいと思っている。よく芋を食べながら三宅八幡宮をウロウロしている。

### 春号限定キャラクター

### きららマン



えいでん公式マスコットキャラクター。春号のテーマでもある、えいでんの歴史などを詳しく教えるから、みんなよろしくね～☆



## えいでんの車両解説②(4)



今日



そういえば、前回の春号は「ひえい」の車両の解説をしたところで終わっていたようだな。今回はその続きからおしゃべりしよう！

いいですね！やりましょう！



今日は私が解説をしましょう…



妹子くんさっすが～！



今日解説するのは700系731号車「ノスタルジック731改」だけ！



外観はこんな感じだね！カッコいい！



簡単に言えばこの列車はえいでんの歴史に思いを馳せた特別仕様になっているんだ。



この電車は、リニューアル前の「ノスタルジック731」を継承し、1925年の叡山本線開業当時に活躍していたデナ1型をイメージしたデザインとしながら、意匠を凝らした一灯式前照灯を前面に配置するなど、新たに生まれ変わったんだよ。



すごい！重厚感と高級感の感じられる緑色だね！深みがあっていいな。天ちゃんみたいに若くない天狗でも楽しめそうだ！

天ちゃん、、、。いつか、次回ぐらいには呼んで一緒にお話できたらいいな。



ちなみに、全部で700系は8本もあるんだな。

それでは最後にみなさんが1番よく見るであろう、800系について解説して終わろう。800系には2つの種類があり、「山並みをイメージした緑色」、「鞍馬の雲珠桜をイメージしたピンク色」の色が生えるデオ800形と、「外観に沿線の草木や植物を描いたデザイン列車こもれび」「柳をイメージした黄緑色」「貴船・鞍馬の山藤をイメージした紫色」の3種類のデオ810形があります。



景色に映える、美しいデザインだね！



# 八幡前駅プロジェクト通信#4

## 2023年クリスマスイベント開催しました！

2023年12月14日に八幡前駅でクリスマスイベントを実施しました。ホーム上に本物のもみの木のクリスマスツリーが設置され、サンタさんへのメッセージ企画などが実施され、駅を訪れたたくさんの人に書いていただきました。京都市森林組合さんの協力もいただき、高さ2m越えのクリスマスツリーを立てました。叡電さんからも、駅天井にイルミネーションの電灯の装飾の協力をいただきました。同志社中学校の生徒がクリスマスソングの合唱、メッセージカードを書いた人が参加できるオリジナルの福引企画が実施されました。カイロなどが貰える参加賞のほかに、こいくるパンやハト駅長フィギュアなどたくさんの豪華景品を用意。生徒と駅と利用者の温もりを感じられる素敵なイベントとなりました。また、KBS京都や京都新聞の方も取材に来られ、えいでん八幡前駅プロジェクトの魅力をメディアを活用する形で発信できて本当によかったなと思います。



イベント告知ポスター



サンタになった！？  
ハト駅長



おお、どの電車も見ていて飽きないな！見慣れない電車が来るとワクワクしてしまうよ！



これにて車両の紹介を終わろうか。

どこ行ってたんですか！？



天狗の天ちゃんと一緒に、秋の味覚巡りをしていたんだよ。遅くなってごめんよ。

通りで天ちゃんがないはずだ、、、次回からは必ず呼んで話をしたいと思ってたところなんだ。



いいじゃん、今度はみんなで歴史について語ろうよ！！



これにて、2刊に渡り解説してきた、叡電の車両解説のコーナーを終わります。叡電の車両について少しでも知っていただき、叡電に乗る際に少しでも感じていただけたら幸いです。

次回も期待だぜ！



次回をお楽しみに！





05

# 次は第五話

◀ えいでん駅ぶらり旅#1～出町柳～ ▶

同志社中学校 × 叡山電車  
八幡前駅プロジェクト

えいでん



## 編集後記

今回は中学生としては最後になるEiden物語の編集でした。これまでとは大きく表紙、中身のイメージを変えて、みなさんにみやすく、分かりやすく伝えることができるよう、努力しました。元田中の駅もたくさんの魅力があることに気づかされました。いつか行って、くじやくのおみくじを引いてみたいと思います。

2回に渡って叡電の車両について解説してきました。次号も引き続きよろしくお祈いします。



同志社中学校

えいでん

2024年夏号

キャラクターがゆく！

# Eiden 物語

えいでん駅ぶらり旅#1～出町柳駅～



叡電八幡前駅プロジェクト



2ページ	目次
	Eiden物語とは？ 今月号の表紙
3ページ	キャラクタープロフィール 夏号限定キャラクター紹介
4～6ページ	えいでん駅ぶらり旅#1～出町柳駅～
7ページ	八幡前駅プロジェクト通信#5
8ページ	編集後記

## Eiden物語とは？

「Eiden物語」とは、同志社中学校の生徒による課外活動「八幡前駅プロジェクト」から誕生したコミュニケーションブックレットです。  
そう、あなたが読んでいるブックレットのことです！

中学生メンバーが取材から編集、印刷まで全て手作りで作っています！また、えいでん全駅に設定されたオリジナルのキャラクター達が会話をしながら沿線の観光やグルメを楽しむといった物語になっています！

ぜひこの物語を手にとって、えいでん沿線を観光してみてください！

## 今月号の表紙

友達を誘って2023年のえいでんまつりに行った時に撮影しました。車庫でしか撮れない、お互いヘッドマークを取り付けた状態の並びをカメラでパシャリ。手前の車両の「初詣」がよく映えています。奥にもちらっとぎららの車両も見えていて、えいでんらしさ全開の1枚になりました。

## キャラクタープロフィール



### ハト 駅長

八幡前駅の頼りになる駅長。姿をくرامすことも。助手のポッポに期待をしている。小さなポーチには時空空間が広がっていて、プロジェクトが始まる前の八幡前駅にタイムスリップもできる。



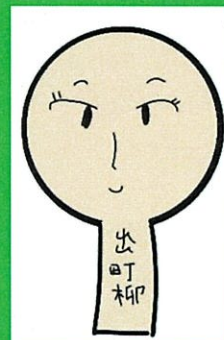
### ポッポ

ハト駅長の新人助手。少しおっちょこちょいな可愛い子。いつか自分もハト駅長になりたいと思っている。こいくるパン(八幡前駅プロジェクトで生まれたパン)をみんなの分を食べてしまうことも。



### 妹子くん

ハト駅長の良き相棒。とてもクールな性格でサバサバしている。ポッポに頑張ってもらいたいと思っている。よく芋を食べながら三宅八幡宮をウロウロしている。



### 夏号限定キャラクター

#### えまちゃん (かがみ えま)

お化粧の勉強をしている鏡絵馬。つっじーやくーちゃんとは分かり合える友達。



# 出町柳駅について語り合う会(4)



今日



前回までは車両解説をしたし、今回からは駅の解説をしようよ。



そう言うと思って、鏡絵馬ちゃんを連れてきたよ～



鏡絵馬ちゃん…？誰だろう

こんにちは～！ 出町柳駅担当の、下鴨神社の摂社である河合神社から来た、鏡絵馬です！  
叡山電車出町柳駅について、今回は私から説明しますね～！



よろしくな！…🙄

妹子さん！こんなに寒いのに、口に芋が付いてるままで寝ないでくださいよ！🙄



出町柳駅は、京阪電車と接続する、叡山電車では一番利用者数の多い駅なんだよ。



出町柳駅は、1925年の叡山本線開業から99年間の歴史があるんですよ。来年は開業100周年なんだって。



ポッポ、さっきまでずっと出町柳駅について勉強していたのを見ていたぞ！



僕も横から覗いたよ。

1934年には、出町柳駅の由来であった柳の巨木が台風で倒れたんだぜ。…🙄

みなさん、勉強していたんですね😊

出町柳駅の駅舎は、元々は仏堂形式の歴史ある建物でしたが、新駅舎が建てられ、今では駅の中でしか見られなくなりました。



お手洗いや綺麗で使いやすいし、グッズの販売もしているから充実しているね！僕はこのひえいのキーホルダーが欲しいな。



周辺スポットの観光には、私のモチーフにもなっている下鴨神社に飾られているたくさんの鏡絵馬が有名です。色々な美人にまつわる物が置いてあるんです。出町柳駅から徒歩12分程で行けちゃうんです！



確か、自分の思うように鏡絵馬に化粧品でお化粧させて、美顔祈願をするんだよね～



# 八幡前駅プロジェクト通信#5

## バレンタイン・ホワイトデー企画2024

2024年2月、八幡前駅にバレンタインがやってきました。「梅の木看板」を取り付け、  
紅梅カードにメッセージを書き、看板に描かれた木に貼り、  
みんなの想いを咲かせよう！の企画が開催されました。2月13日にはメンバーで  
八幡前駅ホームに出向き、利用者の方々よりメッセージを頂戴し、  
素敵な梅の木を咲かせることができました。

続いて3月、こちらホホワイトデーが八幡前駅にやってきました。  
こちらは多方面からたくさんの「白梅カード」を集めました。八幡前駅最寄りの「岩倉  
こひつじ保育園」さんにも協力いただき、園児の皆さんによる可愛らしい「感謝(あり  
がとう)のメッセージがいっぱい。そして3月8日には、出町柳駅での「能登半島地震ぬ  
くもりココアツ募金&チャリティこいくるパン販売」も行って、岩倉駅近くの人気ベー  
カリーである「プレーメン」さんでもメッセージカードの募集も実施しました。

学校内にてチラシを配布し宣伝！↓



更に、下鴨神社の南には旧三井家下鴨別邸という、重要文化財の建築物があって、  
中では江戸、明治、大正と3つの時代の建築が味わえます。



いいなあ。僕も行きたくなってきたよ、



出町柳駅の周りには、他にも色んな所があって楽しいよ！

よーし、今から出町柳駅に観光しに行くか！  
みんな、ついてくるんだぞ～！



ふあ～…😓今起きた、、、  
って?!今から出町柳駅に観光に行くだと!?

ほんと、ハト駅長には私も振り回されますね笑。  
ところで、出町柳駅の次は、どの駅について紹介するんでしょう？



次のキャラクターが楽しみね。では鏡絵馬、これにて失礼！



次はあの駅について紹介するぞ！  
また次回を楽しみにしてくれよな！🍌アムアム。



まだまだ暑い日が続くけど…  
水分とって、叡電乗りに出かけよう！

次回をお楽しみに！





実際に自分たちが考えた文章、会話文がbookとして皆さんに読んでいただけることは面白いと感じています。キャラクターの個性は、叡電があってこそ際立っているのだと思いました。編集面ではプロジェクトメンバーが撮影した叡電の写真を積極的に使っていくなど、オリジナリティーを存分に出したbookに毎号毎号進化している点がやりがいを感じます。これからも読みやすく、さらに面白く、叡電沿線を旅したいと思えるようなbook制作に取り組んでいきます。



06

# 次は第六話

◀ えいでん 駅ぶらり旅#2～元田中～ ▶

